

平成28年度 事務事業等の評価結果

総務課行政改革推進室

平成28年度 事務事業等の評価結果

	拡充	継続	改善	統合	縮小	廃止	計	新規	
								採択	不採択
評価件数	0	3	5	0	0	1	9	0	0

平成28年度 外部評価対象事業に対する評価

No.	課名	事業番号	事業名称	H28当初予算		評価内容・行政判断(行政改革推進本部)			
				事業費(千円)	うち一般財源(千円)	評価	評価内容	再評価期間(3年を超えない範囲)	次回評価年度
1	地域福祉課	3602	子ども発達支援センターさつき園 (障害児居宅支援費)	30,113	4,406	継続	<p>指宿市子ども発達支援センターさつき園は、平成12年度から障害のある子どもや発達障害の疑われる子どもの発達支援を行っており、療育指導の先導的な役割を担っている。</p> <p>前回の評価において最重要課題となっていた施設の老朽化に伴う移設・転用については、平成26年度に移転先に関する内部協議や指宿市子ども発達支援センター療育検討委員会での協議を経て、開聞保健センターへの移転が決定され、改良工事を行い、平成27年8月から新たなさつき園として事業を開始した。現在まで大きな問題等も無く、業務の棲み分けによって本来の保健センター業務も滞りなく行われており、移転前と比較しても当該施設の有効活用が図られている。</p> <p>なお、管理者である園長が指宿市社会福祉協議会開聞支所で勤務することについても、県との事前協議により、週2日間のさつき園駐在での対応も可能であるとの回答から、現在は週2日間駐在する形態を取っている。</p> <p>療育プログラムについては、移転により、活動スペースが広がるなどの充実した療育環境が確保されている。</p> <p>これらのことから、前回評価した指摘事項については、開聞保健センターへの移転によって改善が図られている。</p> <p>なお、療育が必要と認められる児童は年々増加傾向にあり、民間の児童発達支援センターも新たに開設されつつあるものの、さつき園の担う先導的役割はますます大きい。このことから、園長を含む職員全員が研修等を通じて、発達障害等に対する専門的知識を習得するとともに、さつき園の業務が広く理解されるよう広報等の手立てを講じ、福祉に対する市民の認識を深め、意識の高揚を図る必要がある。</p>	—	—

平成28年度 外部評価対象事業に対する評価

No.	課名	事業番号	事業名称	H28当初予算		評価内容・行政判断(行政改革推進本部)			
				事業費(千円)	うち一般財源(千円)	評価	評価内容	再評価期間(3年を超えない範囲)	次回評価年度
2	商工水産課	3780	菜の花商工会補助金	6,127	6,127	継続	<p>菜の花商工会については、商工業者への各種指導・支援や地域経済振興等の施策を数多く実施しているが、会員数が平成18年の商工会合併時と比較して約25%も減少しており、会費や手数料等の自主財源の確保が厳しく、安定的な運営が困難な状況となっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、商工会では本年度、国の小規模事業者支援の取り組みに合わせて地域経済の活性化を目標とする経営発達支援計画を策定し、認定申請を行っている。</p> <p>本計画は、地域の経済動向の調査研究、山川・開聞それぞれの地域の特色を活かした新商品の開発、販路拡大に向けた支援、地域イベントを通じた交流人口の拡大等による地域経済の活性化を図るものであり、これまでの評価で指摘した地域の独自性が盛り込まれている。</p> <p>計画の遂行にあたっては、山川・開聞の両地域の一体化を図るため、支所の統合を進める必要がある。また、効率的・効果的な事業を推進するために、商工会内部に留まらず、行政、地域住民及び外部の関係者の意見等を取り入れることが重要である。</p> <p>これらのことから、補助金については継続とするが、市担当課及び関係課においては、随時、運営状況を把握するとともに、適切な指導・助言を行うこと。</p>	—	—

平成28年度 外部評価対象事業に対する評価

No.	課名	事業番号	事業名称	H28当初予算		評価内容・行政判断(行政改革推進本部)			
				事業費 (千円)	うち一般財源 (千円)	評価	評価内容	再評価 期間 (3年を超えない範囲)	次回 評価 年度
3	観光課	3798	九州オールドカー フェスタin指宿かい もん実行委員会負担 金	502	502	継続	<p>本イベントは、オールドカー愛好者との交流を図りながら、地域の商業振興及び観光浮揚を図ることを目的に、これまで18回開催されている。</p> <p>開催当初は、「ふれあい公園のPR」を目的としていたが、当初の目的は達成されたとして、平成25年度に開催の目的、時期、参加料等を抜本的に見直し、新たにいぶすきマルシェと連携して出店者数の拡大を図るなど改善が行われた。</p> <p>また、平成27年度には、地域住民を主体とした活動を更に推進するため、実行委員会事務局を地域の活動団体である「輝ララかいもん」に移管するとともに、出展者と来場者との交流がしやすい環境を整えるため、車の展示場所を変更するなど、改善を図っており、一定の努力が伺える。</p> <p>これらのことから、本負担金についての評価は継続とするが、現在、出展者及び来場者の年齢が、中高年層に偏った傾向にあることから、今後は幅広い世代の集客を図る必要がある。</p> <p>そのために、菜の花商工会や地元の各団体との連携による組織体制の強化及び出店者数の更なる拡大、また、既存のイベントとの連携による集客力の向上、さらに、報道機関やSNSを活用した広報・PRの強化に努めるべきである。</p>	—	—

平成28年度 外部評価対象事業に対する評価

No.	課名	事業番号	事業名称	H28当初予算		評価内容・行政判断(行政改革推進本部)			
				事業費 (千円)	うち一般財源 (千円)	評価	評価内容	再評価 期間 (3年を超えない範囲)	次回 評価 年度
4	観光課	3784	いぶすき菜の花マラソン実行委員会負担金	6,983	6,983	負担金の縮小に向けた改善	<p>昨年度の評価において、早急に改善すべきとした予算編成及び予算執行の透明性・公平性の確保によるコストの削減については、ボランティアへの帽子支給の廃止等、一部改善が見られる。しかし、物品の購入等については、全般的に1者随意契約であり、依然として改善がなされていない。適正な契約がなされるよう、厳しいコスト意識を持って取り組む必要がある。このためには、これまでの慣例や固定観念にとらわれない透明性の高い体質に改善することが必要である。</p> <p>負担金については、本大会が全国屈指の参加者数を誇る大会に成長し、歳入規模が拡大していることから、負担金に頼らず、参加料等の自主財源による予算編成を行うなど、自主運営に向けた取り組みを進めるべきである。</p> <p>また、基金積立については、目標金額を設定するとともに、積立方法の明確な基準を規定した要綱を早急に制定すべきである。</p> <p>平成27年度は鹿児島マラソンが開催され、本大会においては、県内の参加者が減少した。今後は、新たに地元や県内の参加者を誘引するような策を講じて収入の減少を抑えるとともに、活気のある大会にする取り組みが必要である。</p> <p>これらのことから、事務局である観光協会の組織の刷新を図るため、人員配置等の適切な措置を講ずるべきである。</p>	1年	H29

平成28年度 外部評価対象事業に対する評価

No.	課名	事業番号	事業名称	H28当初予算		評価内容・行政判断(行政改革推進本部)			
				事業費 (千円)	うち一般財源 (千円)	評価	評価内容	再評価 期間 (3年を超えない範囲)	次回 評価 年度
5	観光課	3784	菜の花マーチ実行委員会負担金	3,500	3,500	改善	<p>菜の花マーチは、12月から2月の観光客の閑散期対策として、「菜の花」を活用して誘客促進を図るもので、これまで24回開催してきた。国内で最も歴史のある日本マーチングリーグ加盟の18の公式大会の一つであり、平成27年度からは、南さつま市の「鑑真の道歩き」及び霧島市の「龍馬ハネムーンウォークin霧島」と並んで「鹿児島春の三大ウォーク」の一つとして位置づけられている。</p> <p>これまでの評価を受け、実行委員会事務局の体制を部門別に細分化して業務の平準化を図るとともに、実行委員会を早期に開催するなど、一部改善が図られてきた。</p> <p>しかし、大会運営にかかる物品の購入等については、依然として全般的に1者随意契約のままで、改善に対する取り組みが見られない。事務局においては、厳しいコスト意識を持ち、より効率的な組織体制づくり及び大会運営に取り組むべきである。</p> <p>なお、本大会は、近年の健康志向の高まりから、県内外から毎年1万人を超える参加者が訪れている。今後ますます大会の活性化を図るため、幅広い世代が参加しやすい、魅力ある大会づくりを目指すとともに、より一層、広報に工夫を凝らし、強化していく必要がある。</p>	1年	H29

平成28年度 外部評価対象事業に対する評価

No.	課名	事業番号	事業名称	H28当初予算		評価内容・行政判断(行政改革推進本部)			
				事業費 (千円)	うち一般財源 (千円)	評価	評価内容	再評価 期間 (3年を超えない範囲)	次回 評価 年度
6	市民協働課	3488	今和泉・池田分室 (分室費)	3,974	3,974	改善	<p>今和泉・池田分室については、平成20年度に名称を出張所から分室に変え、嘱託員4名から3名へ縮小している。さらに、平成22年度からは3名雇用による2名の勤務交代制としている。</p> <p>分室の業務内容は、主に各種証明書の発行や税金・各種公共料金の収納などを行う窓口業務となっているが、各分室とも1日の利用者数が10件未満であり、費用対効果の観点から見直しが必要である。</p> <p>分室の利用者は減少傾向にあり、また、平成27年8月からコンビニエンスストアやゆうちょ銀行で税金等各種公共料金の収納を開始していることから、今後、分室の業務量の低減が見込まれる。</p> <p>これらのことから、今和泉・池田分室については、平成29年度において、業務に当たる日数や時間の短縮等、縮小に向けた検討を行うこととする。</p>	2年	H30

平成28年度 外部評価対象事業に対する評価

No.	課名	事業番号	事業名称	H28当初予算		評価内容・行政判断(行政改革推進本部)			
				事業費 (千円)	うち一般財源 (千円)	評価	評価内容	再評価 期間 (3年を超えない範囲)	次回 評価 年度
7	商工水産課	3780	共通商品券発行事業 補助金 (指宿商工会議所)	1,000	1,000	改善	<p>本事業については、平成26年度までは、指宿商工会議所が発行する商品券のうち5%のプレミアム付加分として500,000円を補助していた。</p> <p>平成27年度では、国の地域住民生活等緊急支援のための交付金(地方創生)を活用してプレミアム率20%の共通商品券発行事業を実施した。このプレミアム付加分を地元商店に限定したことにより地元商店のシェアの向上が図られた。</p> <p>平成28年度においては、市及び商工会議所それぞれが1,000,000円ずつ支出して、プレミアム率10%の事業を実施している。</p> <p>共通商品券発行事業については、公平な市民サービスという観点からは、一部の利用者に偏ったものとも捉えられる。また、地元商店の活性化を図るという事業本来の目的においてはその効果が見えにくい。したがって、事業効果が地域全体に行き渡る仕組みに改善すべきである。</p> <p>これらのことから、評価額は既存事業分の500,000円を基本とし、商工会議所の負担額に応じて補助金額の変更を検討することとする。</p> <p>なお、今後の事業の運営にあたっては、加盟店が魅力ある店舗運営に積極的に取り組むとともに、商工会議所内部に限らず、地域住民等の外部の意見を取り入れることが重要である。</p>	2年	H30

平成28年度 外部評価対象事業に対する評価

No.	課名	事業番号	事業名称	H28当初予算		評価内容・行政判断(行政改革推進本部)			
				事業費 (千円)	うち一般財源 (千円)	評価	評価内容	再評価 期間 (3年を超えない範囲)	次回 評価 年度
8	開聞支所 市民福祉課	11390	開聞児童館 (児童館費)	5,408	5,218	改善	<p>開聞児童館は、児童福祉法に基づき児童に健全な遊びを与えて、健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として昭和40年から市において運営を行っている。</p> <p>開設当初62名であった登録児童数は、昭和45年度の84名をピークに減少傾向に転じた。打開策として平成20年度には3歳児の受け入れを開始したが、現在は2名の登録児童のみとなっており集団指導等を行うには困難な状況である。</p> <p>平成26年度に児童館運営の取り組みを支援する地域応援団として児童館九玉会を設立したり、開聞児童館の今後のあり方に関し開聞児童館運営協議会において地域や関係団体との共同運営、母親クラブとの連携等について協議・検討を重ねてきたが、一定の方針を出すまでには至っていない。</p> <p>開聞児童館は、開設時から保育に欠けない児童を預かる施設並びに18歳までの児童が自由に遊ぶ場として運営してきたが、地域における児童数の減少や家庭・社会環境の変化、保育園や幼稚園等の多様な受入態勢の拡充により、今後も登録児童数や放課後等利用児童数の飛躍的な増加は見込まれない。</p> <p>また、設備環境の面においても経年による施設・遊具等の老朽化も進んでいる。</p> <p>これらのことから、開聞児童館については、廃止を視野に入れつつ、平成29年度において九玉会や開聞児童館運営協議会等、地域住民と施設の運営について協議・検討し、結論を示すこととする。</p>	2年	H30

平成28年度 外部評価対象事業に対する評価

No.	課名	事業番号	事業名称	H28当初予算		評価内容・行政判断(行政改革推進本部)			
				事業費 (千円)	うち一般財源 (千円)	評価	評価内容	再評価 期間 (3年を超えない範囲)	次回 評価 年度
9	開聞支所 市民福祉課	3618	開聞児童館母親クラブ補助金	189	189	廃止	<p>開聞児童館母親クラブは、児童館の登録児童や放課後に利用する児童の母親等で構成されており、親子や世代間の交流・文化活動、家庭教育に関する研修活動、奉仕活動などを通じて、地域の幼児・児童生徒の安全、健全な育成を図ることを目的としている。</p> <p>補助金については、平成23年度までは国、県及び市による補助であったが、平成24年度に全額交付税措置されたことに伴い、国・県による補助も廃止されたため、現在市の単独補助となっている。</p> <p>これまで、地域住民とともに「母親クラブ大運動会」など、地域に根ざした自主活動も行ってきたが、近年の登録児童数の減少に伴い、参加人員も激減し、本来の目的に沿った活動が展開できない状況となっている。</p> <p>これらのことから、開聞児童館母親クラブ補助金の評価は廃止とする。</p>	—	—